

# 平成21年4月期 第2四半期決算短信

平成20年12月8日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド  
 コード番号 2910 URL <http://www.rockfield.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩田 弘三  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループマネージャー (氏名) 伊澤 修  
 四半期報告書提出予定日 平成20年12月15日 配当支払開始予定日 平成21年1月16日

上場取引所 東 大

TEL 078-435-2800

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年4月期第2四半期の連結業績(平成20年5月1日～平成20年10月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年4月期第2四半期	23,570	—	784	—	799	—	403	—
20年4月期第2四半期	23,099	6.4	1,145	23.7	1,155	22.5	601	20.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年4月期第2四半期	30.41	—
20年4月期第2四半期	45.30	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年4月期第2四半期	25,122	—	20,101	—	80.0	—	1,513.50	—
20年4月期	25,838	—	20,077	—	77.7	—	1,511.65	—

(参考) 自己資本 21年4月期第2四半期 20,101百万円 20年4月期 20,077百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年4月期	—	18.00	—	22.00	40.00	
21年4月期	—	18.00	—	—	—	
21年4月期(予想)	—	—	—	22.00	40.00	

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年4月期の連結業績予想(平成20年5月1日～平成21年4月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
通期	48,075	1.9	1,785	△28.9	1,820	△28.4	890	△32.7	67.01	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年4月期第2四半期 13,394,374株 20年4月期 13,394,374株

② 期末自己株式数 21年4月期第2四半期 112,991株 20年4月期 112,727株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年4月期第2四半期 13,281,502株 20年4月期第2四半期 13,281,767株

### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成20年5月1日から平成20年10月31日まで）におけるわが国経済は、米国発の金融市場の混乱に加え、円高・株安の進行により、景気の後退局面入りが鮮明になってまいりました。

そうざい業界におきましても、原材料価格の高騰や消費者マインドの冷え込みにより、厳しい状況が続いております。また、相次ぐ食の不祥事によりお客様の食に対する不信感が強まり、食品企業の食の安心・安全への取り組みが強く求められております。

このような情勢の中にあり、当社グループは第6次中期経営計画の下、「たゆまぬ全員参加の“K A I Z E N”と大胆な“イノベーション”の風を起こそう！」をスローガンにし、「健康」「安心・安全」「美味しさ」「鮮度」「サービス」「環境」の価値観に基づき、付加価値・収益性の高いSOZAIオンリーワン企業を目指しております。また、高品質で高付加価値の商品開発を行い、店別、時間帯別、曜日別に品揃えを強化し、買い合わせ提案を実施いたしました。さらに、生産、物流をはじめ全社ベースでの効率化によるコスト低減にも努めてまいりました。その結果、売上高は23,570百万円となりました。

ブランド別の売上は以下のとおりであります。

業態		平成21年4月期 第2四半期		平成20年4月期 第2四半期	
		売上	構成比	売上	構成比
RF1	サラダ	9,294	39.4	9,789	42.4
	フライ	4,222	17.9	3,432	14.9
	その他そうざい	3,903	16.6	3,311	14.3
	小計	17,420	73.9	16,532	71.6
神戸コロッケ		2,058	8.7	2,025	8.8
いとはん・三日坊主		891	3.8	911	3.9
RF1 Asia・融合		546	2.3	581	2.5
そうざいや 地球健康家族	そうざい	917	3.9	1,046	4.5
	弁当・米飯	420	1.8	412	1.8
	小計	1,338	5.7	1,458	6.3
ベジテリア		1,039	4.4	1,252	5.4
DELICArf-1		100	0.4	115	0.5
その他		175	0.8	221	1.0
合計		23,570	100.0	23,099	100.0

利益面につきましては原材料高、人材確保難による人件費の増加などの影響により、営業利益は784百万円、第2四半期純利益は403百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産については、前連結会計年度末に比べて715百万円減少し25,122百万円となりました。これは、静岡ファクトリー第三棟の増設工事の着工を行ったことにより有形固定資産の増加はありましたが、現金及び預金の減少や評価による投資有価証券の減少によるものであります。

一方、負債においては、前連結会計年度末に比べて長期借入金（1年内返済予定長期借入金を含む）の返済により375百万円減少、未払法人税等が352百万円減少したことにより負債合計は5,021百万円となりました。

純資産においては、前連結会計年度末に比べて24百万円増加し20,101百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて2.3ポイント増加して80.0%、1株当たり純資産は1,513円50銭となりました。

## (2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて1,211百万円減少し、4,847百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得た資金は782百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益772百万円、法人税等の支払額631百万円等によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,313百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出1,209百万円等によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は677百万円となりました。これは、主に長期借入金の約定弁済375百万円、配当金の支払額292百万円等によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年4月期の連結業績予想につきましては第2四半期までの実績を踏まえ、前回発表予想（平成20年6月12日決算発表時）を変更いたします。売上におきましては、金融危機に端を発した景気の悪化による個人消費の冷え込みなどの影響により当社既存店の伸張率は前回発表時点ほど見込めないため、前期実績を上回るものの前回予想を下回る見通しとなりました。一方、原材料高による原価への影響は落ち着きを見せてはおりますが依然高い水準で推移しております。生産の効率化などによる原価低減や各部門でのコスト低減などに努めておりますが、人件費の増加などの影響もあり、営業利益は前期を下回る見通しであります。

連結業績予想（平成20年5月1日～平成21年4月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	48,745	2,520	2,559	1,263
今回発表予想 (B)	48,075	1,785	1,820	890
増減額	△670	△735	△739	△373
増減率 (%)	△1.4	△29.2	△28.9	△29.5
平成20年4月期実績	47,171	2,509	2,543	1,322

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。
3. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これによる損益に与える影響はありません。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

(3) 追加情報

（有形固定資産の耐用年数の変更）

平成20年度の法人税法の改正を契機として固定資産の使用状況等を見直した結果、第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数を9年から10年に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合と比べ、第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,967	6,158
売掛金	3,332	3,331
製品	64	54
仕掛品	76	53
原材料及び貯蔵品	164	177
その他	468	544
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,073	10,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,158	8,352
機械装置及び運搬具（純額）	509	477
土地	3,003	3,003
建設仮勘定	778	16
その他（純額）	813	707
有形固定資産合計	13,263	12,557
無形固定資産	274	304
投資その他の資産		
投資有価証券	283	403
差入保証金	571	581
長期預金	1,000	1,000
繰延税金資産	133	98
その他	531	581
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	2,511	2,657
固定資産合計	16,049	15,518
資産合計	25,122	25,838

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,253	1,224
1年内返済予定の長期借入金	672	750
未払法人税等	330	682
賞与引当金	446	520
その他	1,825	1,890
流動負債合計	4,528	5,068
固定負債		
長期借入金	394	692
その他	98	—
固定負債合計	493	692
負債合計	5,021	5,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	8,925	8,813
自己株式	△208	△208
株主資本合計	20,121	20,010
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	82
為替換算調整勘定	△19	△15
評価・換算差額等合計	△20	66
純資産合計	20,101	20,077
負債純資産合計	25,122	25,838

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)
売上高	23,570
売上原価	10,428
売上総利益	13,141
販売費及び一般管理費	12,357
営業利益	784
営業外収益	
受取利息	2
受取配当金	2
保険配当金	7
その他	13
営業外収益合計	25
営業外費用	
支払利息	8
その他	2
営業外費用合計	10
経常利益	799
特別損失	
固定資産除却損	27
特別損失合計	27
税金等調整前四半期純利益	772
法人税等	368
四半期純利益	403

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自 平成20年5月1日  
 至 平成20年10月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	772
減価償却費	703
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△74
受取利息及び受取配当金	△4
支払利息	8
固定資産除却損	27
売上債権の増減額 (△は増加)	△0
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△20
仕入債務の増減額 (△は減少)	29
その他	△22
小計	1,418
利息及び配当金の受取額	4
利息の支払額	△8
法人税等の支払額	△631
営業活動によるキャッシュ・フロー	782
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△20
有形固定資産の取得による支出	△1,209
有形固定資産の売却による収入	20
無形固定資産の取得による支出	△22
投資有価証券の取得による支出	△14
長期前払費用の取得による支出	△79
差入保証金の回収による収入	28
差入保証金の差入による支出	△18
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△375
リース債務の返済による支出	△9
自己株式の取得による支出	△0
自己株式の売却による収入	0
配当金の支払額	△292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△677
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,211
現金及び現金同等物の期首残高	6,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,847



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日）

当社グループは、同一セグメントに属する各種そうざいの製造・販売事業を行っており、当該セグメント以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年 5月 1日 至 平成19年10月31日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高		23,099 100.0
II 売上原価		10,105 43.7
売上総利益		12,994 56.3
III 販売費及び一般管理費		11,848 51.3
営業利益		1,145 5.0
IV 営業外収益		
1. 受取利息	2	
2. 受取配当金	3	
3. 保険配当金	13	
4. その他	8	27 0.1
V 営業外費用		
1. 支払利息	13	
2. その他	3	17 0.1
経常利益		1,155 5.0
VI 特別損失		
1. 固定資産除売却損	72	
2. 会員権評価損	7	79 0.3
税金等調整前中間純利益		1,076 4.7
法人税、住民税及び事業税	415	
法人税等調整額	59	474 2.1
中間純利益		601 2.6

## (2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年 5月 1日 至 平成19年10月31日)
区分	金額 (百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純利益	1,076
減価償却費	720
貸倒引当金の増加額	7
賞与引当金の増加額 (△減少額)	△67
固定資産除売却損	72
受取利息及び受取配当金	△6
支払利息	13
売上債権の減少額 (△増加額)	107
たな卸資産の減少額 (△増加額)	17
仕入債務の増加額	58
その他	△98
小計	1,900
利息及び配当金の受取額	6
利息の支払額	△13
法人税等の支払額	△560
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,333
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△120
定期預金の払戻による収入	20
有形固定資産の取得による 支出	△402
無形固定資産の取得による 支出	△23
長期前払費用に関する支出	△51
差入保証金の回収	87
差入保証金の支払	△30
長期貸付金の貸付	△1
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△521

	前中間連結会計期間 (自 平成19年 5月 1日 至 平成19年10月31日)
区分	金額 (百万円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△411
自己株式の取得による支出	△0
自己株式の売却による支出	0
配当金の支払額	△239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△650
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△2
V 現金及び現金同等物の増加額	158
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,163
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	5,321

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当中間連結会計期間（自 平成19年5月1日 至 平成19年10月31日）

当社グループは、同一セグメントに属する各種そうざいの製造・販売事業を行っており、当該セグメント以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当中間連結会計期間（自 平成19年5月1日 至 平成19年10月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当中間連結会計期間（自 平成19年5月1日 至 平成19年10月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。